

陳 情 書

板付基地の返還について

板付基地返還促進協議会

板付基地の返還について

本協議会は、板付基地の返還促進を図ることを目的として、昭和30年に結成された全市的な市民団体であります。以来69年にわたり、166万福岡市民の生活環境を守るため、板付基地の返還について継続的に要請するとともに、福岡空港の軍事基地化及び軍事利用に反対してまいりました。

この間、関係機関、各位のご尽力により、基地の大部分が返還されたことにつきましては深く感謝しており、平成28年3月の米軍背振山通信施設の全面返還に際しましては、返還に向けてお力添えを賜りまして、心よりお礼申し上げます。

しかしながら、今なお福岡空港の一部に米軍の専用区域が残り、滑走路・誘導路等は共同使用区域とされております。

福岡市においては、アジアの交流拠点都市づくりを推進しており、福岡空港は、国内ばかりでなく国際空港としても重要な交流拠点機能を有する民間空港であります。また、将来の航空需要に適切に対応するため、滑走路の増設事業が実施されております。

福岡市民は、市民生活と空港の安全確保の観点から、心から板付基地の早期全面返還を望んでおります。

つきましては、次の事項について格段のご配慮、ご尽力を賜りますよう強く要望いたします。

記

- 1 米軍の福岡空港使用をやめ、空港内の米軍施設の早期全面返還に努めていただくこと。

令和6年11月

外務大臣

岩 屋 毅 様

防衛大臣

中 谷 元 様

板付基地返還促進協議会

会長 打 越 基 安



